

# 学習課題(小学校4年生)

## 【社会】



<勉強すること>「わたしたちの北海道をひらいた人々」

◆北海道をひらいた人々について、教科書114～139 ページや地図帳、学校で使っているしりょうなどを参考に、学習しましょう。

(1) 下の人物は、北海道をゆたかなまちにするためにかつやくした人物です。それぞれどのようなことがかつやくしたのでしょうか。インターネットや持っているしりょうなどで調べ、線でむすびましょう。

- |          |   |                                  |
|----------|---|----------------------------------|
| エドウィン・ダン | ・ | ・ 札幌村の開拓を手がけ、今の創成川のもととなる大友堀をつくる。 |
| 島 義勇     | ・ | ・ アメリカから招かれ、酪農の技術を北海道に伝える。       |
| 新渡戸 稲造   | ・ | ・ 開拓使判官として、札幌を中心としたまちづくりを進める。    |
| 大友 亀太郎   | ・ | ・ 学校に行けない子どもたちのために、「遠友夜学校」をつくる。  |

(2) 明治時代に廣井 勇 という人物が小樽港北防波堤をつくり、北海道の発てんにこうけんしました。この防波堤は、なぜつくられたのでしょうか。当時の小樽の様子について下の( )にあてはまる言葉を  から選び、書きこみましょう。

- ・明治時代、工業をさかんにするために必要な、北海道の空知地方でとれるしつの良い(① )を小樽港から全国におくることになった。
- ・1880年に鉄道が開通すると、小樽港では(② )も全国に送り出すようになり、まちが大きく発てんした。
- ・小樽港では、強い北風によって起きる(③ )が何度も港をおそい、たくさんの船や家が大きなひがいを受けていた。
- ・廣井 勇は、小樽港に防波堤をつくって、大波の被害を少なくした。

大きな波 ・ コンクリート ・ 石炭 ・ 農作物

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・教科書では、熊本県山都町にある通潤橋をつくった布田保之助の取組を紹介しています。北海道でも様々な先人たちが北海道の発展のために活躍しました。学習を進める際は、当時の世の中の課題や願いに着目することが大切です。